

○述語論理へのイントロダクション

命題論理の限界と述語論理

- (1) 外は雨が雪が降っているはずだ。  
でも雨ではない。  
だからきっと雪にちがいない。

$$A \vee Y$$

$$\neg A$$

$$Y$$

$$A \vee Y, \neg A \vdash Y$$

- (2) 人間はみないずれ死ぬ運命にある。  
ソクラテスは人間である。  
したがってソクラテスもいずれ死ぬ運命にある。

→ 妥当な証明だ"か"  
命題論理では  
形式でと"て"せ"ない。

固有名と述語

informalの意味

固有名: ものを指し示す語 ⇒ 定項 : 英小文字 a から t まで

述語: ものの性質、もの同士の関係を表す語 ⇒ 述語記号: 英大文字

- (例) ソクラテスは人間である

$$\Rightarrow N_s$$

大文字が先

ソクラテス:  $s$   
...は人間である:  $N$

述語は空所2つ。

- (例) プラトンはアリストテレスの先生である

$$\Rightarrow S_p a$$

プラトン:  $p$   
アリストテレス:  $a$

...は  $a$  の先生である:  $S$

量化子と変項

「すべての...について」「ある...が存在して」 ⇒ 普遍 (全称) 量化子:  $\forall$  存在量化子:  $\exists$   
 量化子を用いて記号化を行う際に必要となるのが 変項 : 英小文字 u から z まで

- (例) 人間はみないずれ死ぬ運命にある

⇒ すべての人間はいずれ死ぬ運命にある

⇒ すべての  $x$  について、 $x$  が人間である

$$\Rightarrow \forall x (N_x \rightarrow M_x)$$

条件をつける。

$$\rightarrow \forall x (x \in N \rightarrow x \in M) \rightarrow \forall x \in N (x \in M)$$

と"も"か"る。

- (例) 政治家の中には芸人であったものもいる

⇒ ある政治家は芸人であった

⇒ ある  $x$  が存在して、 $x$  は政治家であり

$$\Rightarrow \exists x. (P_x \wedge C_x)$$

...は い"ずれ"死ぬ運命にある:  $M$   
(mortal)  
人間: ?

「 $x$  は い"ずれ"死ぬ運命にある」

人間は固有名で"は"ない。  
かといって、 $N$  は性質を  
示すだけ"は"ない。  $N$  単"品"  
で"も"表"せ"ない。

$\exists x$  : 命題3つ"の"変項"を"使う。  
 $x$  は芸人であった  
...は政治家である:  $P$   
...は芸人であった:  $C$

例題：述語論理による形式化

\*定項と述語記号として次のものを用いて、以下の各言明を形式化せよ。

**a** : エイブ(Abraham)

**b** : ビーティー(Beatrice)

**Ax** : xは赤ん坊である

**Nx** : xはよく泣く

**Wx** : xはよく笑う

**Sx** : xはよく育つ

**Txy** : xはyのともだちである

**Lxy** : xはyを愛している

(1) エイブは赤ん坊である。

$$Aa$$

(2) エイブはよく泣く赤ん坊である。→ エイブはよく泣く。+ エイブは赤ん坊である。

$$Na \wedge Aa$$

(3) エイブもビーティーもよく泣く。→ エイブはよく泣く。+ ビーティーもよく泣く。

$$Na \wedge Nb$$

(4) 赤ん坊はみんなよく泣く。→  $\forall x$  の赤ん坊はよく泣く。→  $\forall x$  の  $x$  について

$$\forall x (Ax \rightarrow Nx)$$

$x$ は赤ん坊ならば  
 $x$ はよく泣く。

(5) よく笑う赤ん坊もいる。

$$\exists x (Wx \wedge Ax)$$

(6) よく泣く赤ん坊はよく笑い、よく育つ。→  $\forall x$  のよく泣く赤ん坊は

$$\forall x ((Nx \wedge Ax) \rightarrow (Wx \wedge Sx))$$

(7) よく笑うものがみなよく泣くとは限らない。→ (よく笑うものがみなよく泣く) ということはない。

$$\neg \forall x (Wx \rightarrow Nx)$$

(8) よく泣くものに限ってよく育つ。

$$\forall x (Sx \rightarrow Nx)$$

(9) ビーティーはエイブのともだちである。

$$Tba$$

(10) エイブにはともだちがいる。

$$\exists x Txa$$

(11) エイブのともだちはみんなよく笑う。  $\forall x$  のエイブの友だちはよく笑う。

$$\forall x (Txa \rightarrow Wx)$$

(12) よく泣く赤ん坊のともだちはみんなよく泣く。  $\forall x$  のよく泣く赤ん坊の友だちはよく泣く。

$$\forall x \exists y ((Txy \wedge Ny) \rightarrow Nx)$$

(13) ともだちのともだちはみなともだちだ。

$$\forall x \exists y \exists z ((Txy \wedge Tyz) \rightarrow Txz)$$

(14) みんな自分自身を愛している。

$$\forall x Lxx$$

(15) みんながみんなを愛している。

$$\forall x \forall y Lxy$$

(16) すべてのものを愛しているような、あるものが存在する。

$$\exists x \forall y Lxy$$

(17) どんなものも、なんちかのものを愛している。

$$\forall x \exists y Lxy$$